

一般入試前期B日程

国 語

I

出典 『なぜ疑似科学が社会を動かすのか』（石川幹人）PHP新書

超心理学を例にした疑似科学研究を行っている明治大学教授による著書です。具体例も多く示され、全体的に平易に書かれていますので、文意を掴むのはさほど難しくはないでしょう。

問1 【漢字の書き取り・読み】（解答番号は①～⑤）

全問正答率は受験者の3%でした。正答が最も少なかったのは「林立」でした。

問2 【空欄補充・前後の文脈から適語を選ぶ】（解答番号は⑥・⑦）

①は1行前の「社会に応用していく」が、②は直前の「どの程度重ねられてきたか」がヒントです。正答率はそれぞれ64%、33%でした。

問3 【空欄補充・前後の文脈から適当なものを選ぶ】（解答番号は⑧）

空欄を含む段落を読み、よく考えれば正答はすぐわかるはずです。正答率は76%でした。

問4 【文脈把握・内容理解】（解答番号は⑨）

傍線部Aを含む段落の次の段落をよく読めば正答は導けます。正答率は71%でした。

問5 【指示語の内容を考える】（解答番号は⑩）

傍線部Bの直前の文章をよく読めば正答はすぐに導けるはずです。正答率は81%でした。

問6 【文脈把握・内容理解】（解答番号は⑪）

傍線部Cを含む段落の直前2段落を読めば正答は明らかです。正答率は95%でした。

問7 【文脈把握・言葉の意味】（解答番号は⑫）

「後づけ」という言葉の意味を知ってさえいれば簡単です。正答率は90%でした。

問8 【文脈把握・内容理解】（解答番号は⑬）

傍線部Eを含む段落を過不足なく押さえれば正答は得られます。正答率は78%でした。

問9 【文脈把握・言葉の意味】（解答番号は⑭）

傍線部Fを含む段落の次の段落にある「おのずと周囲の意見に合わせてしまう」、「付和雷同」の意味を押さえれば正答を導くことができます。正答率は48%でした。

問10 【文脈把握・内容理解】（解答番号は⑮）

傍線部Gの2つ後の文をよく読めば正答はすぐに導けます。正答率は82%でした。

問11 【文脈を把握し当てはまらないものを選ぶ】（解答番号は⑯）

選択肢③の「十分なデータ収集が必要」は科学的な発想です。正答率は73%でした。

問12 【文脈把握・内容理解】（解答番号は⑰）

傍線部Iを含む段落の直前の段落から正答を導くのは容易です。①を選ぶ誤答が目立ちましたが、①の前半部分は創造説による進化論批判ではありません。正答率は40%でした。

問13【内容を理解して小見出しを選択する】（解答番号は18）

正答率は16%でした。この節で著者が主張しているのは「予言は検証されていないが、科学的知識よりも影響力を持っている」ということです。①を選ぶ誤答が目立ちましたが、終末予言が生きのび続ける理由はこの節全体で重点的に述べられてはいません。

問14【内容合致】（解答番号は19・20）

正答率は⑦が52%、⑧が37%でした。④や⑤を選択している受験者が散見されましたが、④は後半の説明が、⑤は「自ら爆弾などで…先延ばしに」が本文の内容と相違します。

II

出典 猪木武徳「経済学に何ができるか」

問題文は知的財産制度について著者の体験を交えながら意見を述べています。論旨も明快ですから、文意を理解することはそれほど難しくはないでしょう。

問1【漢字の書き取り・読み】（解答番号は21～26）

a 奨励 b 振興 c 処遇 d 許諾 e 商標 f こうでい がそれぞれ正解です。

「拘泥」の読み問題は大半の人が正解していましたが、振興、商標に関しては書けていない人が多く見受けられました。

問2【空欄補充】（解答番号は27）

正解は③です。II と III は問題文の中程にある「排他的（独占的）」と「一定期間」という言葉がヒントです。特に III に「一定期間」が入ることが分かれば、I の⑥と⑨は排除されることはわかるでしょう。

問3【文脈把握による空欄補充】（解答番号は28～30）

正解は、それぞれ④、②、⑧です。IV は1行後の「西洋中世」や「一九世紀に入ると」がヒントで、正解を導くことは容易でしょう。V は同じ段落で筆者がさまざまな形で疑問を投げかけていること、VI は直後の「特に思索による」がそれぞれのヒントになります。

問4【文脈把握による空欄補充】（解答番号は31）

正解は⑥です。空欄直前の「『知的財産権』は～廃止すべき」がヒントです。正答率は32%でした。

問5【漢字画数】（解答番号は32）

正解は①と③です。今年度初めて出された新しいタイプの問題で正答率は25%でした。二つ選ばなければならないのに、一つしか選んでいない人がいました。

問6【文脈把握・理由説明】（解答番号は33）

正解は⑤です。正答率は83%と多くの人が正答を導くことができていました。

問7【文脈把握・慣用句】（解答番号は **34**）

正解は③です。普段から辞書を引き、正確な意味を押さえる習慣をつけましょう。

問8【文脈把握・内容理解】（解答番号は **35**）

正解は④です。同じ段落冒頭の「それにしても～励まないのだろうか」がヒントです。正答率は79%と多くの人が正解を選んでいました。

問9【文脈把握・理由説明】（解答番号は **36**）

正解は⑧です。著者が「知的独占」に懐疑的立場をとっていることを押さえていけば難しくありません。正答率は70%でした。

問10【文脈把握・慣用句】（解答番号は **37**）

正解は⑥です。直後の「『雪だるま』型ではなく」がヒントです。正答率は58%でした。問7と同様、普段から辞書を引き、正確な意味を押さえるようにしましょう。

問11【小見出し選択】（解答番号は **38**）

正解は⑦です。正答率は32%でした。著者は「知的独占」に対してさまざまな観点から自覚的に疑問を投げかけつつも、それが世間で見落とされているとまでは言っていないため、③の「盲点」は不正解になります。

問12【内容合致】（解答番号は **39**）

正解は⑥です。問題文最後の2段落がヒントです。なお、②は「経済理論」ではなく、「経済倫理」と問題文にあり、不正答です。正答率は21%でした。